

I. 第三期データヘルス計画について

平成 30 年度～令和 5 年度までの 6 年間に一期とした「第二期データヘルス計画」については、健康課題として歯科予防、風邪予防、生活習慣病の重症化予防、乳幼児医療に対する親への啓蒙、精神疾患に関する取り組みを行った。取り組みの方法としては、機関紙・ホームページ等の広報媒体等の利用、専門講師による講習会、保健師による保健指導及び事業所訪問等を通じて加入者と事業所の健康に対する意識づけを重点に置いたポピュレーションアプローチを主体に行った。この結果、医療費の伸びが抑制し高齢者医療制度への納付金についても削減効果が得られた。また、加入者の健康に対する意識向上についても一定の効果はあったものとする。更に疾病の治療放置者に対する重症化予防対策を個別に行うハイリスクアプローチも順次、展開していくこととした。

令和 6 年度～令和 11 年度までの 6 年間に一期とする「第三期データヘルス計画」においては、医療費データ及び健診データ分析をさらに進め、加入者の特性、行動特性、医療費分析、疾病分析等の分析結果から健康課題を抽出し、課題に対応する対策の方向性を定めて効果的な事業を展開する。

第三期においては、第二期と同様の課題傾向が見受けられることから、基本的に第二期の事業を踏襲し、疾病の治療放置者に対する重症化予防対策を個別に行うハイリスクアプローチを重点的に実施していくこととする。

また、事業の実施にあたっては事業主の協力を得て、事業所との協働を強化していくこととする。データ分析による当組合の健康課題及び対策については以下のとおりであります。

1. データ分析

(1) 加入者の特性

- ① 男性被保険者は 20 代前半～40 代後半が多く、20 代の構成比率は他健保と比べて高い。
- ② 女性被保険者は 20 代及び 40 代後半、50 代前半が多く、20 代前半及び 60 代以上の構成比率は他健保と比べて高い。

(2) 行動特性

① 健診受診状況

被扶養者の健診受診率は、他健保と比べ約 21 ポイント低い。

② ジェネリック医薬品使用状況

令和 5 年 3 月の数量割合は 83.6%、他健保と比べて 0.8 ポイント高い。

(2) 医療費分析・疾病分析

① 疾病別では、高血圧症の医療費が最も高い。

② 脂質異常症が平成 30 年度比 26%増で増加率が高い。

③ 内分泌系・循環器系・新生物は、受療率は低い为患者あたりの医療費は高い。

④ 疾病別構成比で見ると、生活習慣病は全医療費の 18.2%を占める。

⑤ うつ病の患者数は男性被保険者の 30 代～40 代、女性被保険者の 20 代が多い。

⑥ 歯科医療費は 40 代～50 代の被保険者が高い。

(4) 健診分析

① 喫煙率は他健保と比べ、男性被保険者で 11.8 ポイント高く、女性被保険者で 11.3 ポイント高い。

② 生活習慣病改善意欲なしの割合は他健保と比べ、男性被保険者で 1.8 ポイント高く、女性被保険者で 8.0 ポイント高い。

(5) 健康課題

① 被扶養者の健診未受診者の 89.6%は、2 年連続健診未受診者で占められている。

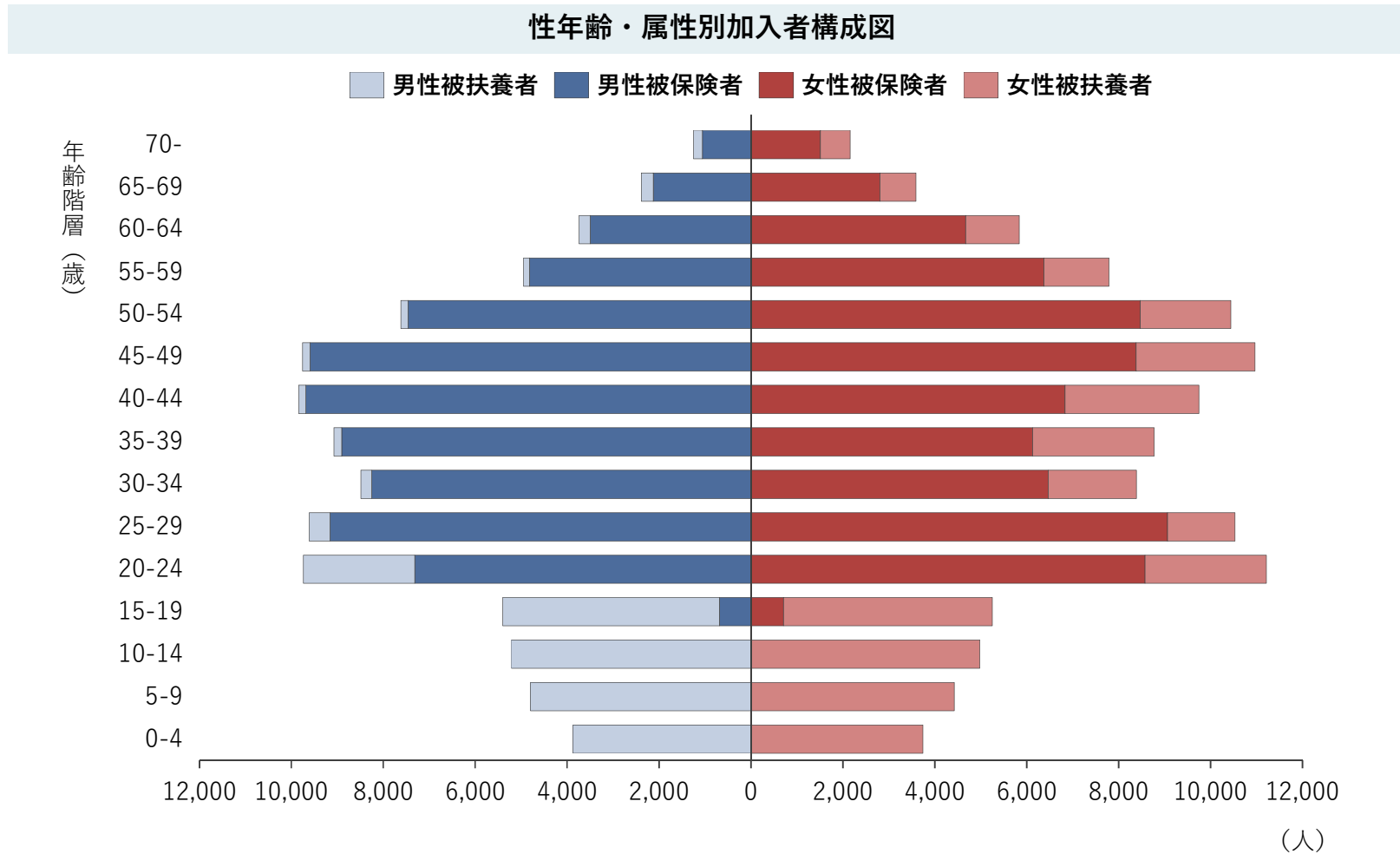
② 特定保健指導対象者は、被保険者・被扶養者合わせて 2021 年 11,476 人から 2022 年度 10,748 人に減っている。

③ 治療が必要な者で放置している者 23,519 人のうち、5,818 人が高リスク者である。

④ 慢性腎臓病で重症度 G3a（軽度～中等度低下）以上のリスク者 3,202 人のうち 2,601 人は未受診者である。

加入者特性 〈2022年度 年齢階層別加入者構成〉

※年度：2022年度

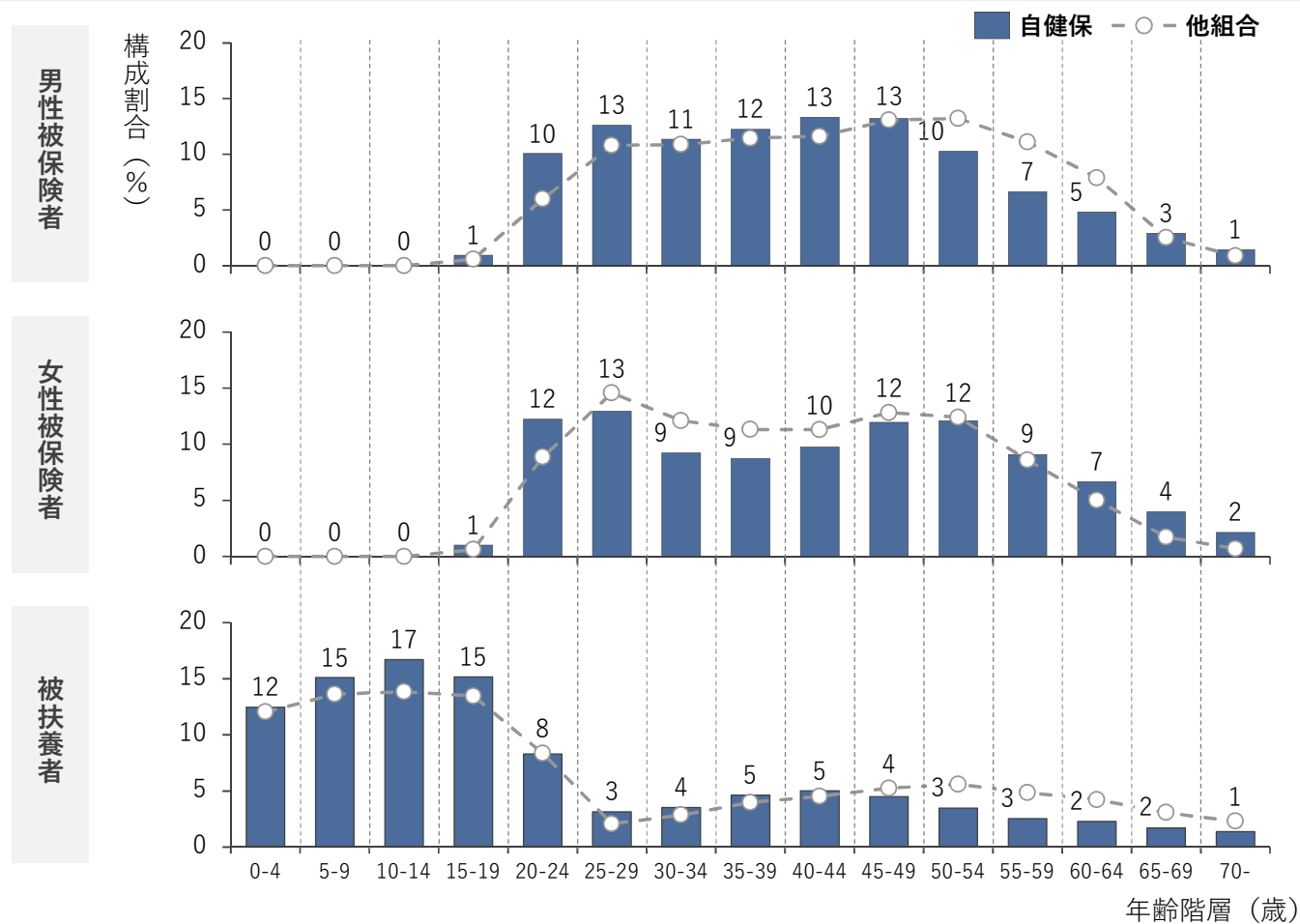


加入者特性 〈属性・年齢階層別加入者構成割合〉

※年度：2022年度

男性被保険者は20代前半～40代後半が多く、20代の比率は他健保に比べて高い。
 女性被保険者は20代及び60代以上が多く、20代前半の比率は他健保と比べて高い。

2022年度 年齢階層別構成割合（他組合比較）

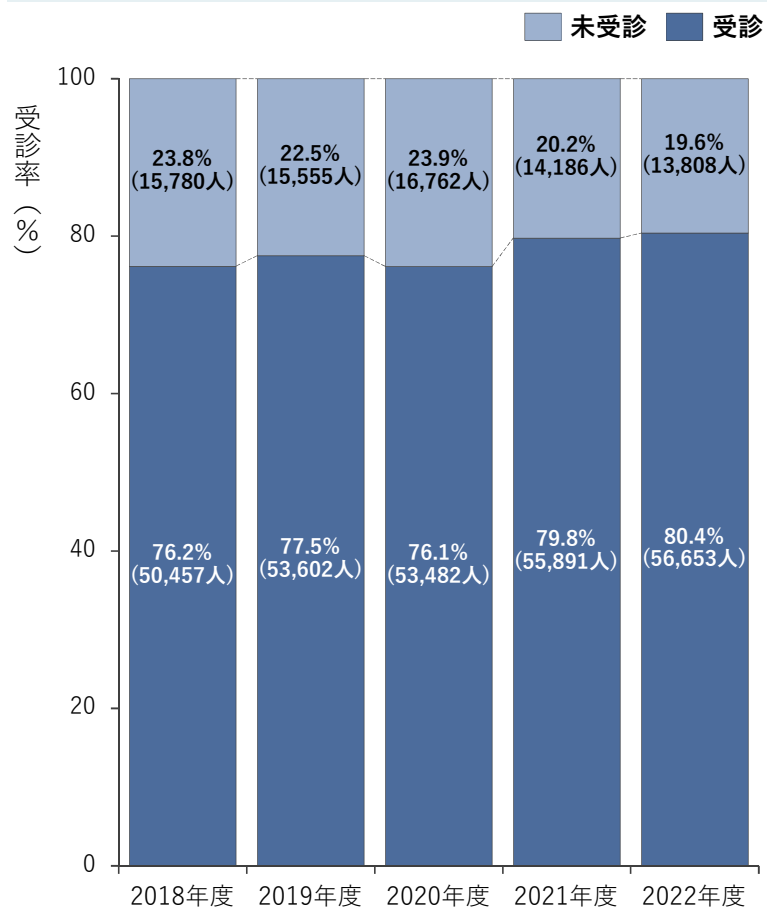


行動特性 〈年度別 健診受診率〉

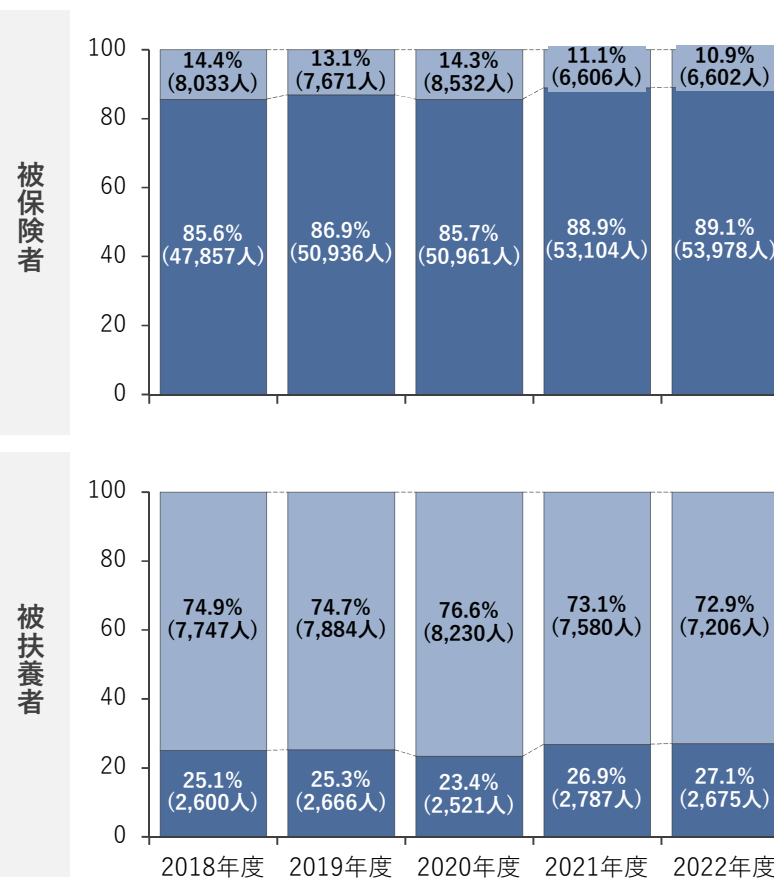
※対象：各年度継続在籍者
 ※年齢：各年度末40歳以上

2022年度被扶養者の健診受診者は9,881人中2,675人で、健診受診率は27.1%であった。
 他健保の健診受診率48.1%に対して21ポイント低い。

年度別 健診受診率（全体）



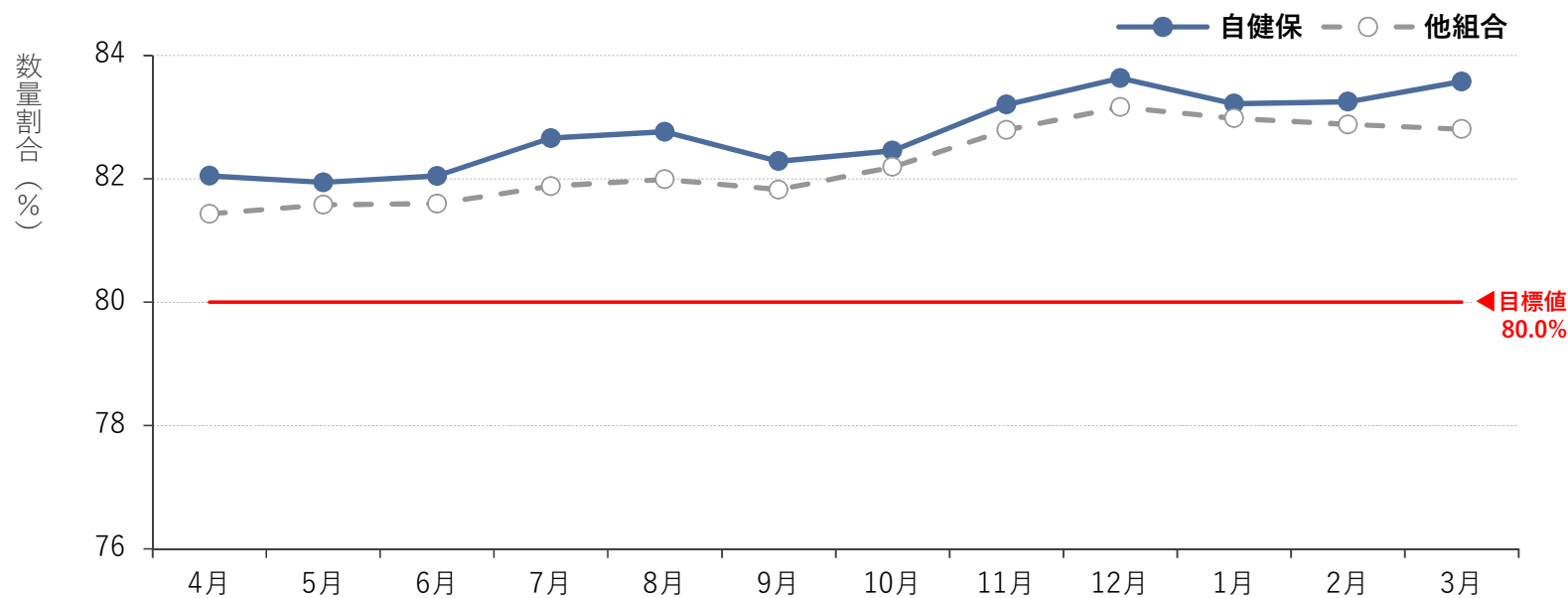
年度別 健診受診率（被保険者・被扶養者別）



行動特性 〈2022年度 月別 後発医薬品数量割合推移〉

※年度：2022年度
 ※対象レセプト：全て

2023年3月の数量割合83.6%で、他健保と比べ0.8ポイント高い。



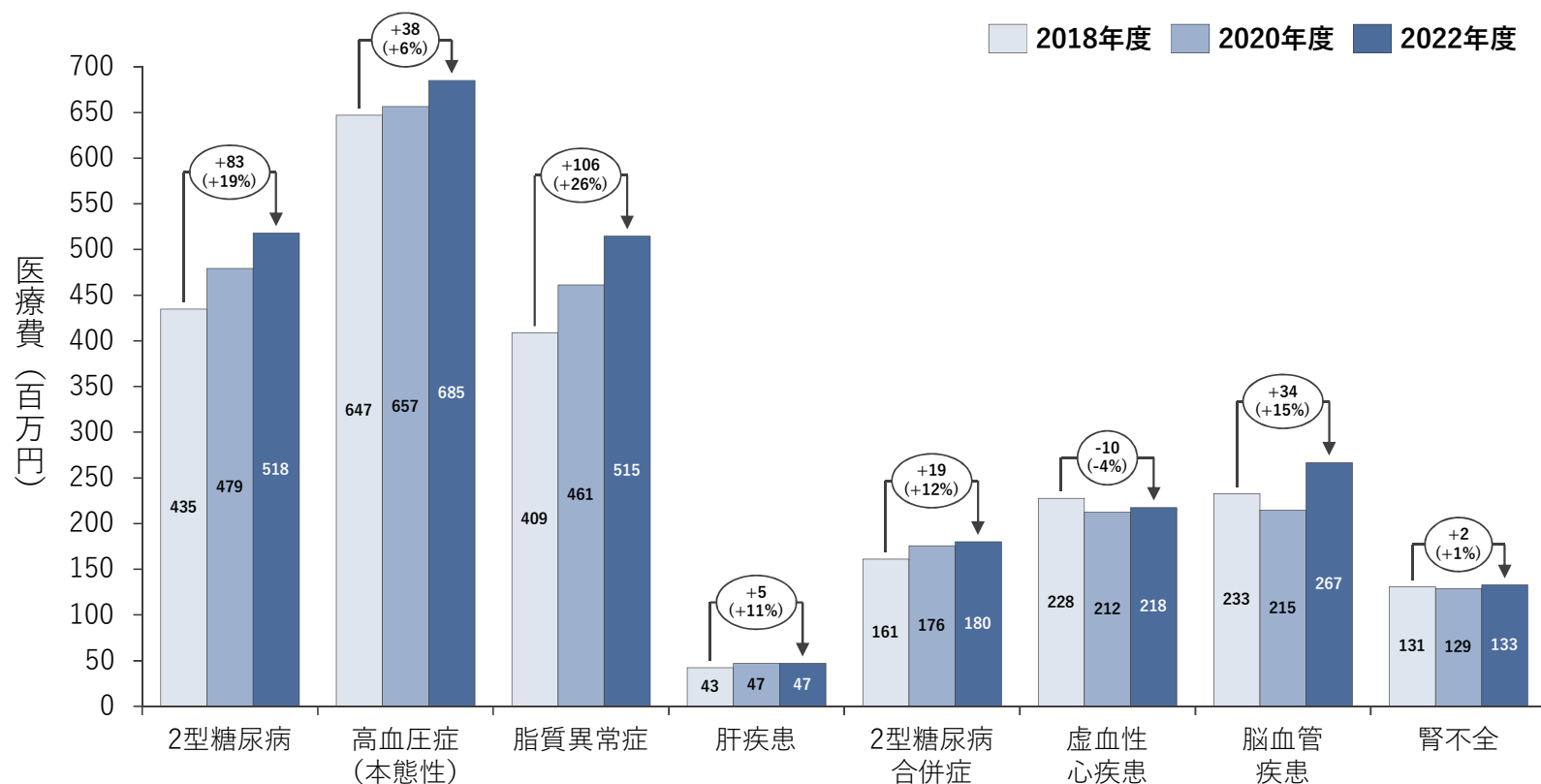
レセプト種別 後発医薬品数量割合

レセプト種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
医科入院	84.6%	86.0%	88.5%	85.7%	85.1%	84.9%	85.4%	86.4%	85.1%	86.5%	88.2%	87.0%
医科入院外	67.0%	67.4%	66.2%	67.5%	67.4%	65.8%	66.6%	67.1%	67.9%	67.6%	67.5%	67.9%
調剤	84.8%	84.6%	84.8%	85.5%	85.7%	85.3%	85.3%	86.0%	86.4%	86.0%	85.8%	86.1%
歯科	47.4%	46.4%	47.4%	46.1%	46.3%	47.0%	46.1%	45.9%	49.6%	46.4%	47.1%	51.4%
全レセプト	82.1%	81.9%	82.0%	82.7%	82.8%	82.3%	82.5%	83.2%	83.6%	83.2%	83.3%	83.6%

生活習慣病対策 重症化予防 主な疾病の医療費推移 〈医療費比較〉

※医療費抽出方法：PDM法
※対象レセプト：医科、調剤
※疑い傷病：除く

疾病別では、高血圧症の医療費が最も高い。
変化率では、脂質異常症が経年比較+26%であった。

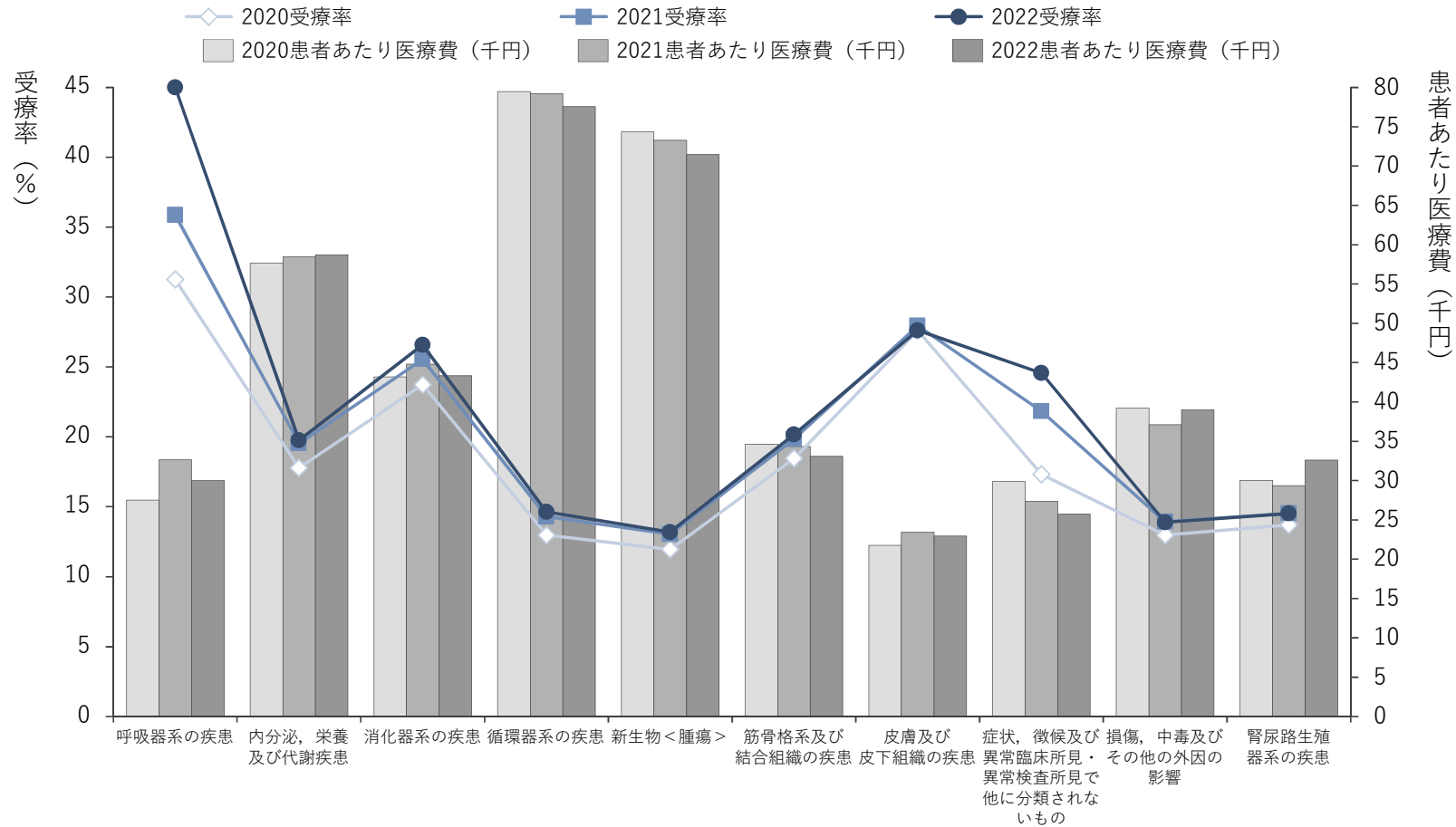


疾病分析

〈ICD10大分類別 医療費構成割合上位10の受療率と患者あたり医療費〉

※医療費抽出方法：PDM法
 ※対象レセプト：医科、調剤
 ※疑い傷病：含む

循環器系・新生物は、受療率は低いながら、患者当たりの医療費は高い。

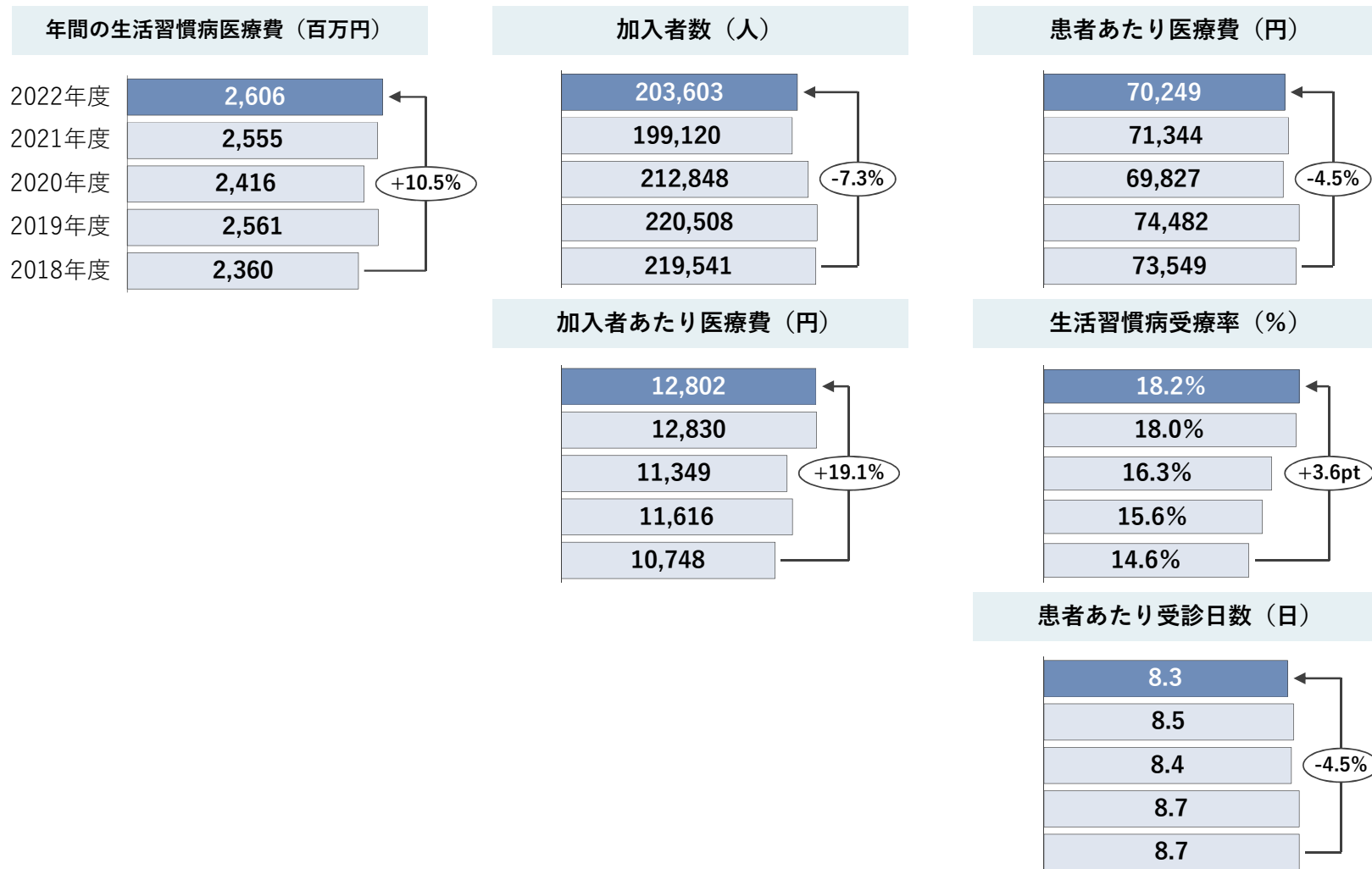


生活習慣病対策 重症化予防 生活習慣病医療費分析

※医療費抽出方法：PDM法
※対象レセプト：医科、調剤
※疑い傷病：含む

※○○%：変化率
※○○pt：変化値

疾病別構成比で見ると、生活習慣病は全医療費の18.2%を占める。

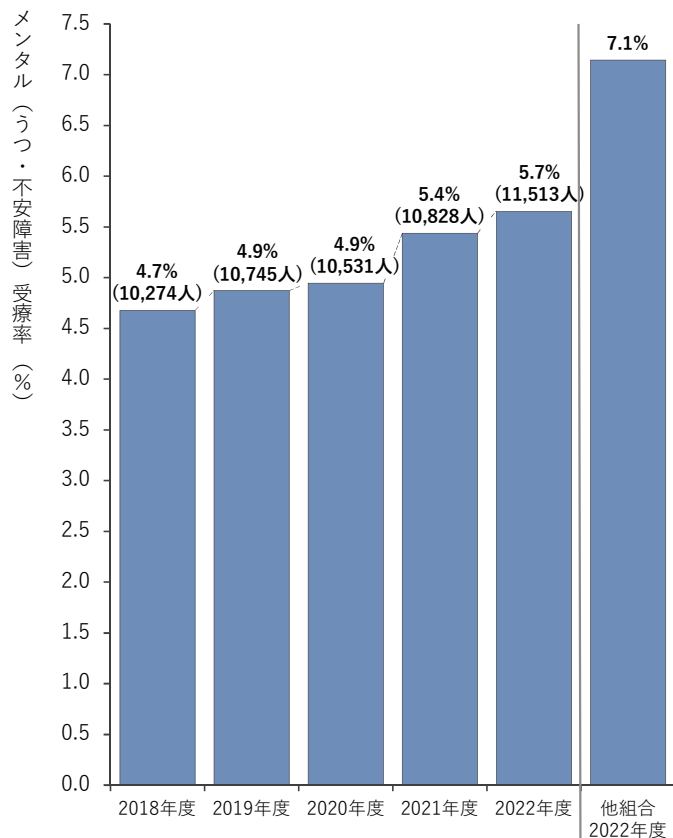


メンタル疾患対策 〈気分障害（うつ病など）・神経性障害（不安障害など）〉

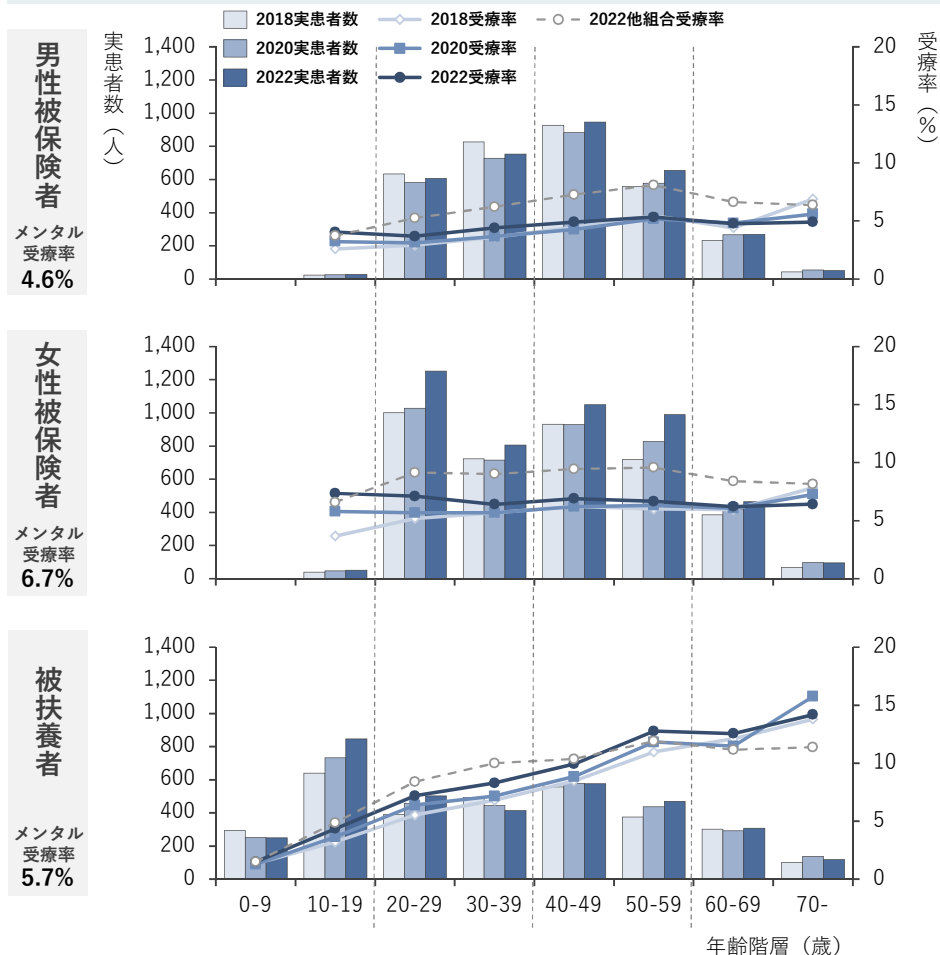
※対象レセプト：医科
※疑い傷病：除く

うつ病の患者数は男性被保険者の30代-40代、女性被保険者の20代が多い。

年度別 メンタル受療率



年齢階層別 実患者数と受療率（経年比較）

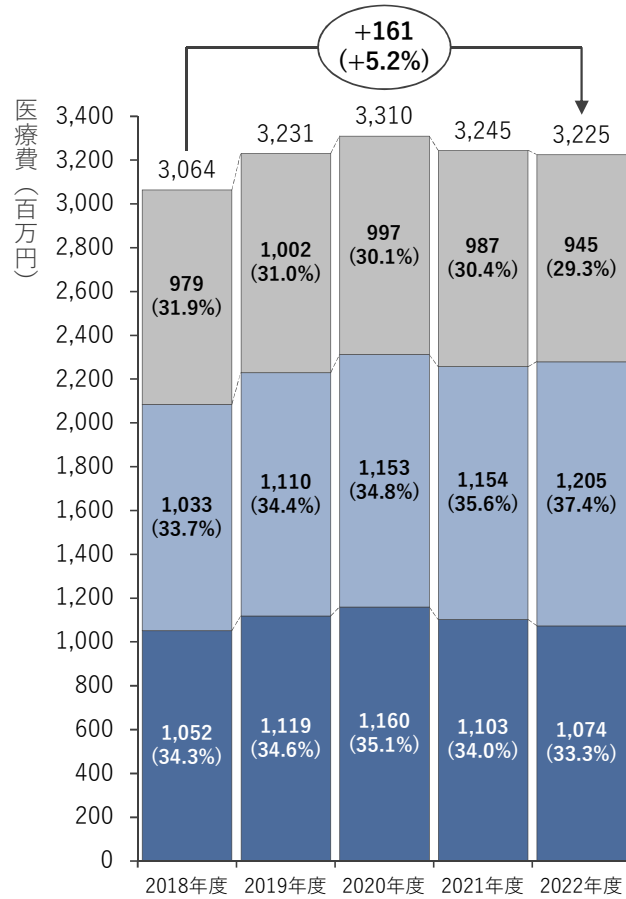


疾病分析 〈歯科 総医療費〉

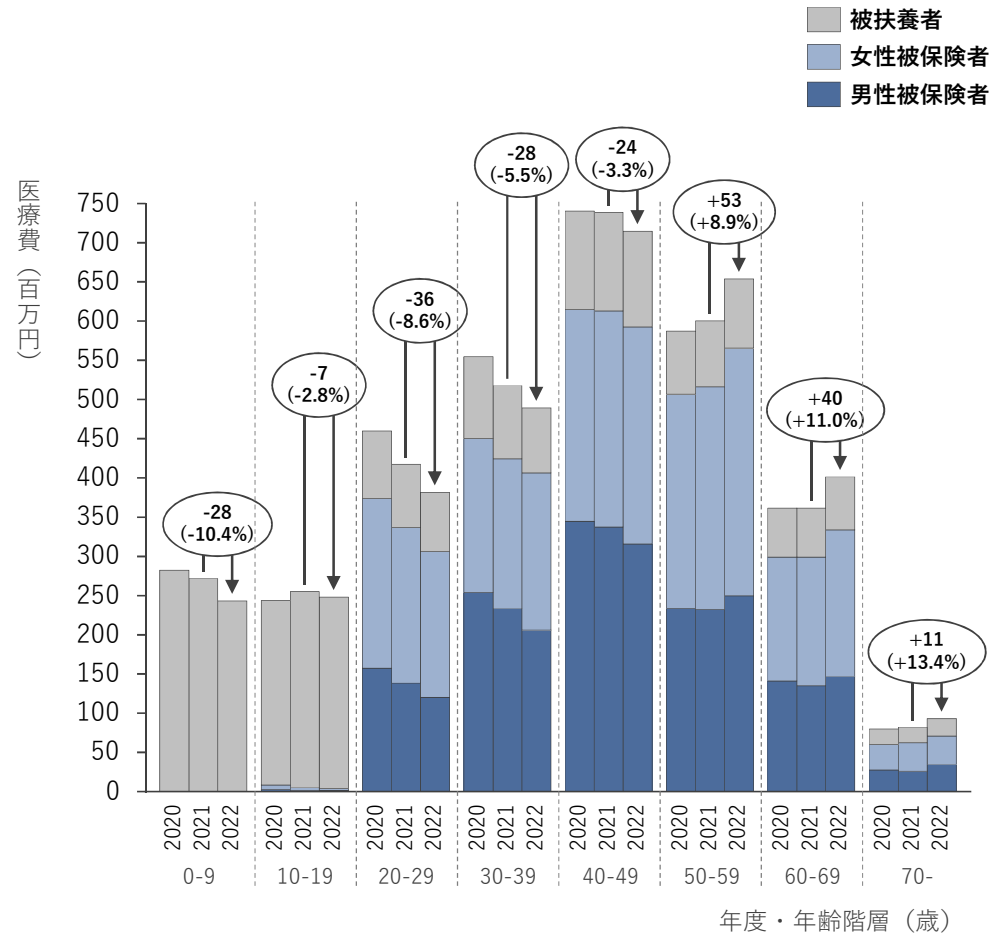
※対象レセプト：歯科

歯科医療費は40代から50代の被保険者が多い。

年度別 医療費推移



年度/年齢階層別 医療費推移

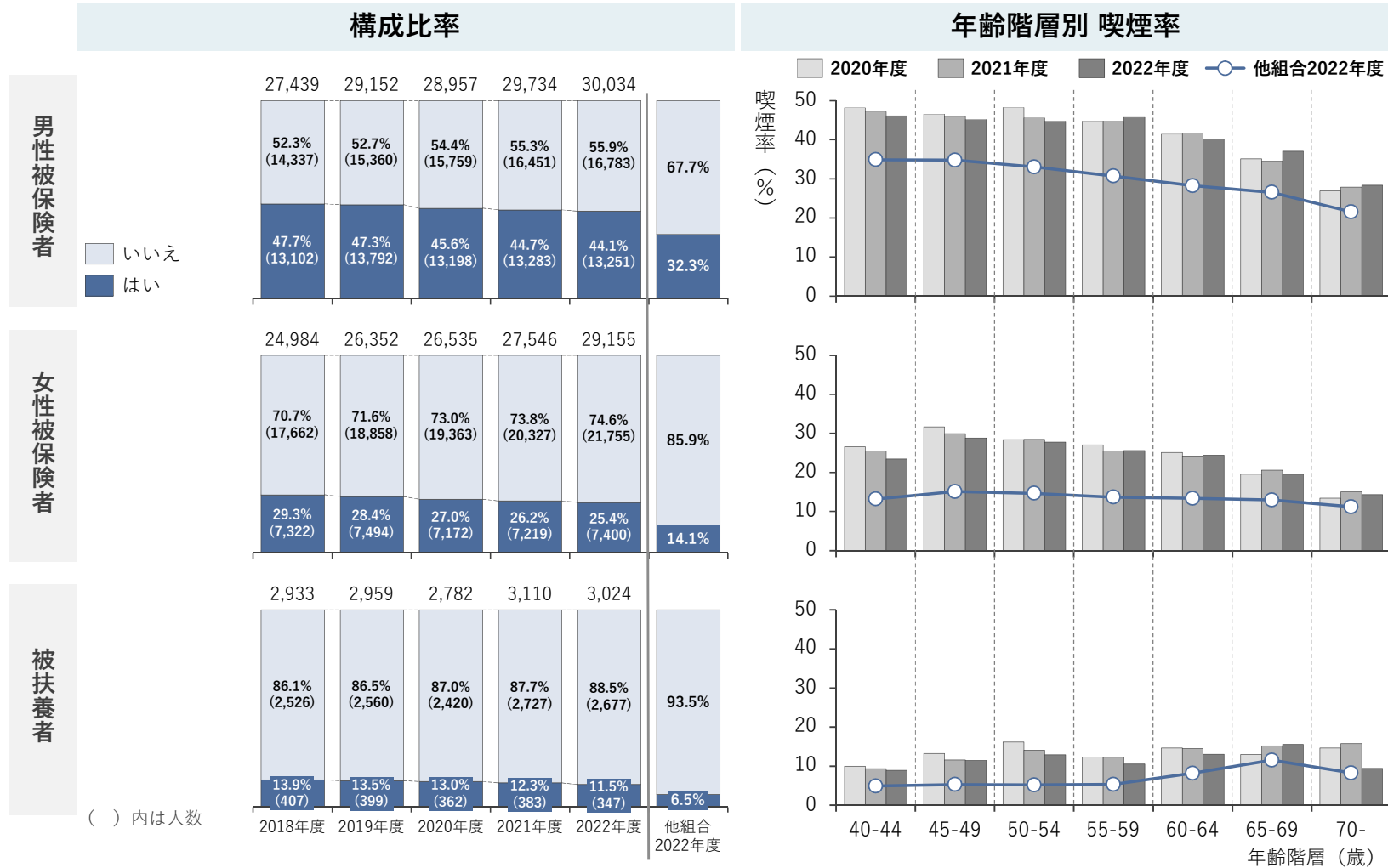


年度・年齢階層 (歳)

問診分析 〈喫煙〉 <現在、たばこを習慣的に吸っていますか>

※年齢：各年度末40歳以上

男性被保険者は他健保と比べ11.8ポイント高い。
女性被保険者は他健保と比べ11.3ポイント高い。

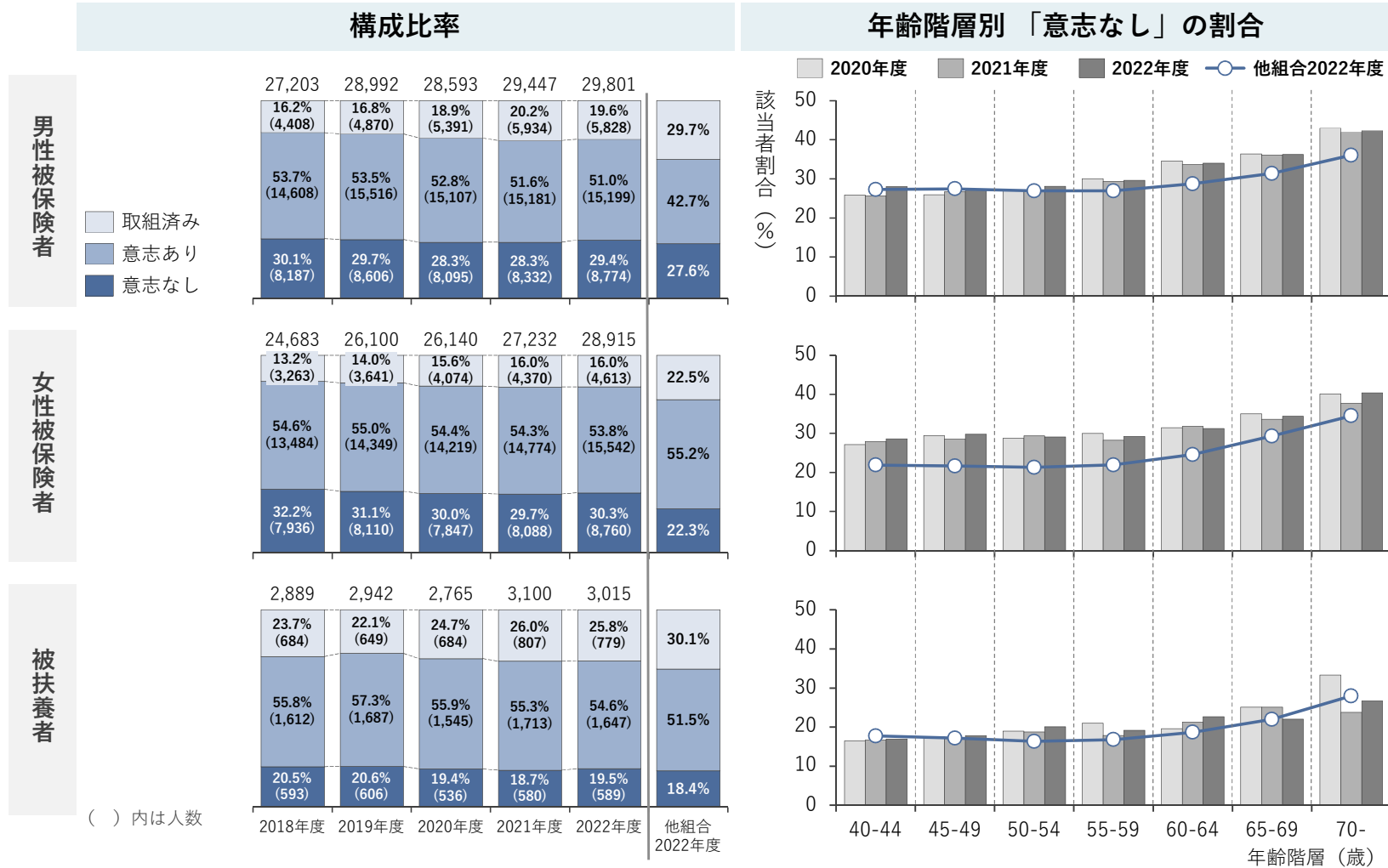


問診分析 〈生活習慣改善意欲〉

〈運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか〉

※年齢：各年度末40歳以上

改善意志なしの割合は男性被保険者で他健保と比べ1.8ポイント高い。
女性被保険者で8.0ポイント高い。



特定健康診査 〈健診未受診群のパターン分析〉

※対象：2021~2022年度継続在籍
2022年度健診未受診者
※年齢：2021年度末40歳以上

■所見：特定保健指導域の検査数値
■医療機関受診：下記いずれかに該当(2022年度内)
・3か月に1回以上の受診有り(医科・調剤レセプト)
・6か月で生活習慣病の血液検査が1回以上有り(医科レセプト)

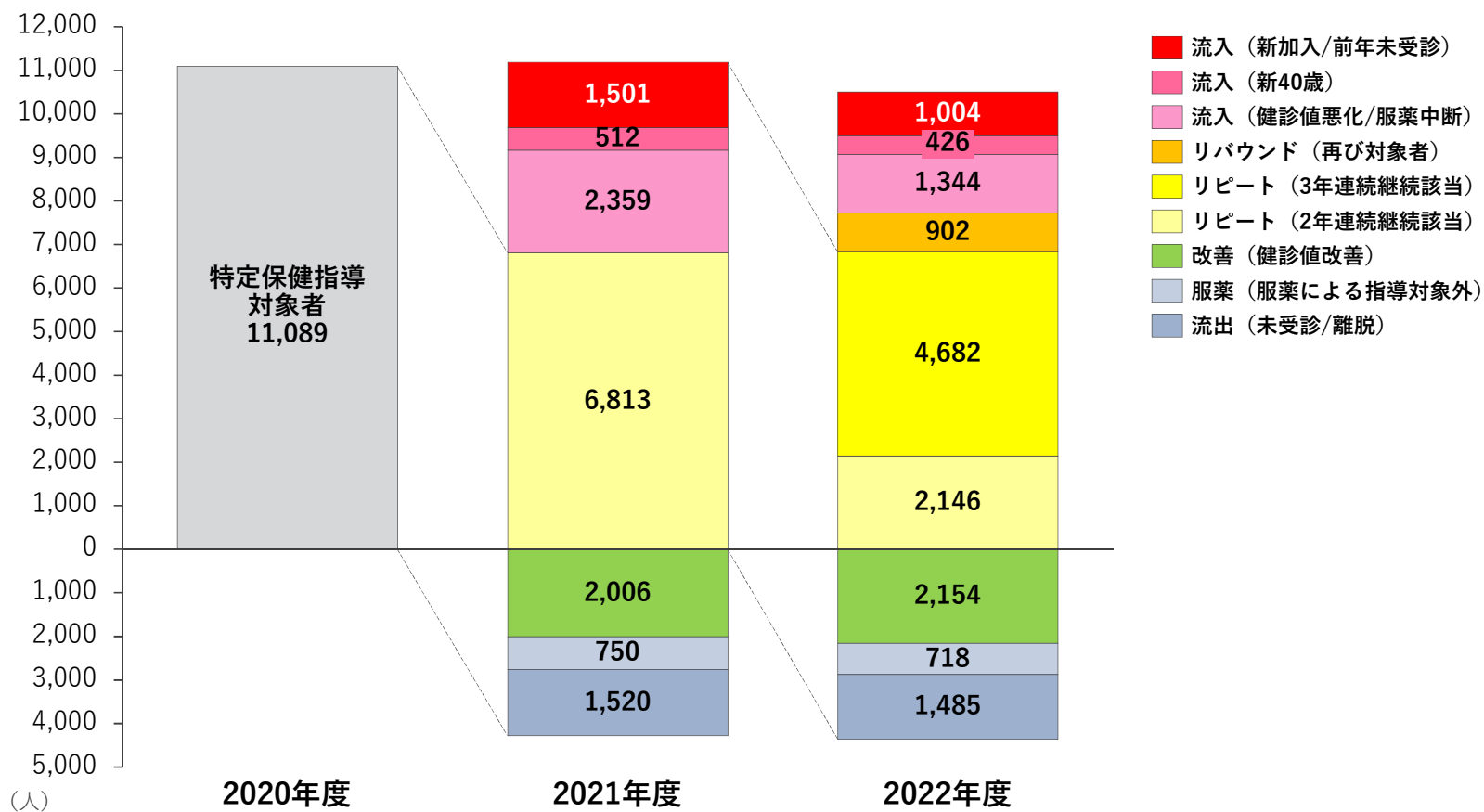
健診未受診者を各パターン別に分類。
被扶養者の89.6%は、2年連続健診未受診者で占められている。

分類	2021年度 健診	2021年度 所見	医療機関 受診状況	被保険者		被扶養者	
				人数	構成	人数	構成
パターン①	○	○	○	807	14.4%	318	5.0%
パターン②	○	○	×	910	16.3%	207	3.3%
パターン③	○	×	○	68	1.2%	73	1.2%
パターン④	○	×	×	122	2.2%	63	1.0%
パターン⑤	×	-	○	1,437	25.7%	2,972	47.2%
パターン⑥	×	-	×	2,245	40.2%	2,669	42.4%
合計				5,589		6,302	

生活習慣病対策 特定保健指導 〈流入出分析 被保険者〉

※対象：各年度継続在籍被保険者
※年齢：各年度末40歳以上

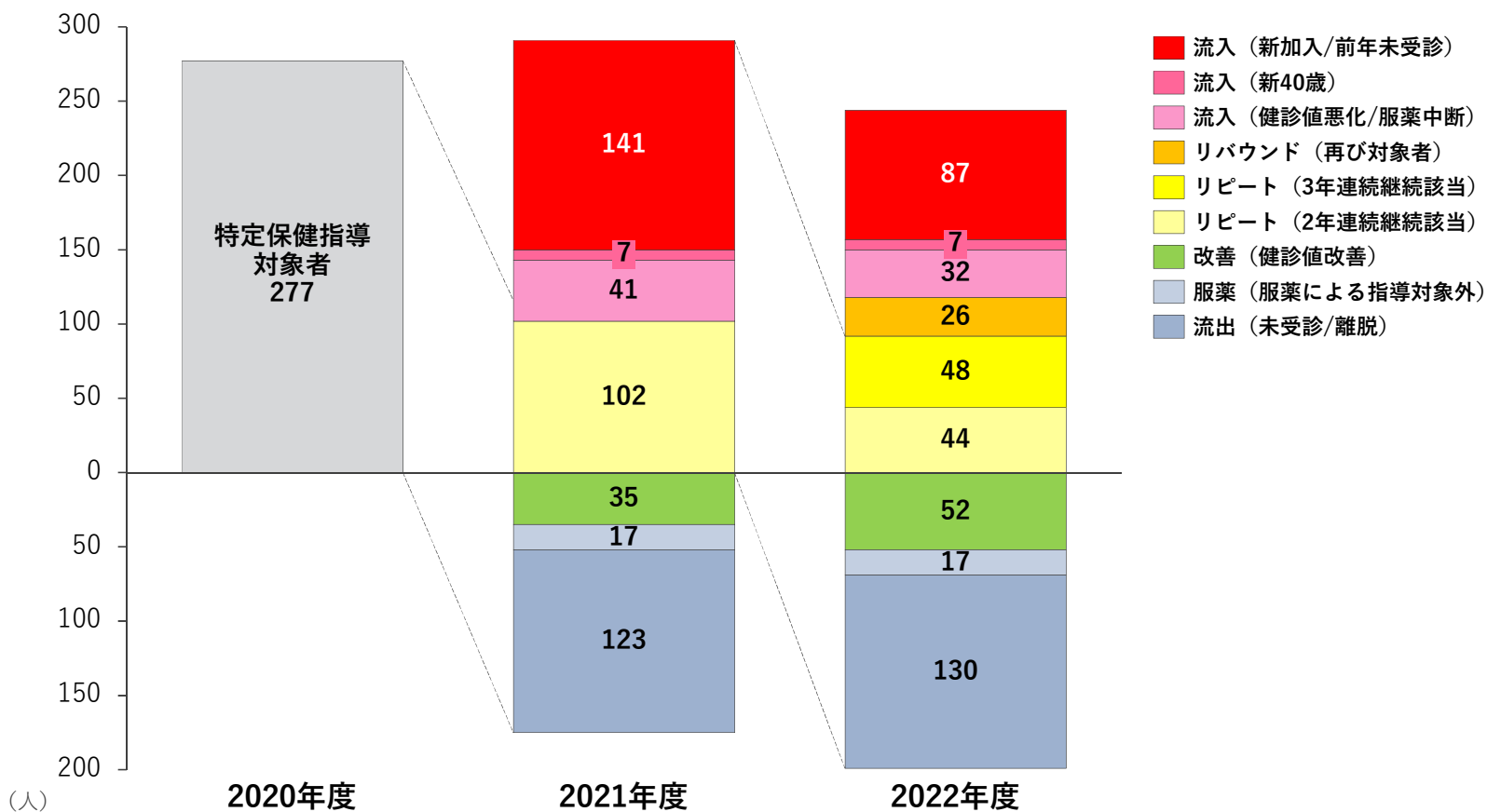
2021年度対象者11,185人から2022年度対象者10,504人に減っている。
新たに指導対象者となった3,676人の内、1,344人は悪化である。



生活習慣病対策 特定保健指導 〈流入出分析 被扶養者〉

※対象：各年度継続在籍被扶養者
※年齢：各年度末40歳以上

2021年度対象者291人から2022年度244人に減っている。
新たに指導対象者となった152人の内、32人は悪化である。



生活習慣病対策 重症化予防 〈未受診者リスク別人数〉

※対象：2022年度継続在籍者
生活習慣病（重症化含む）での通院・入院をしていない者
※通院・入院のレセプト条件：2022年度内レセプト、疑い傷病含む
※対象レセプト：医科

対象者23,519人の内、5,818人が高リスク者である。

（血糖・
血圧・
脂質）
有所見数

	患者予備群（受診勧奨域）	治療放置群（治療域）
リスク層別 未受診者分析	空腹時血糖：110~125mg/dl 又はHbA1c：6.0~6.4%	空腹時血糖：126mg/dl以上 又はHbA1c：6.5%以上
	収縮期血圧：140~159mmHg 又は拡張期血圧：90~99mmHg	収縮期血圧：160mmHg以上 又は拡張期血圧：100mmHg以上
	中性脂肪：300~499mg/dl以上 又はLDL：140~179mg/dl以上 又はHDL：35~39mg/dl	中性脂肪：500mg/dl以上 又はLDL：180mg/dl以上 又はHDL：35mg/dl未満
	1	14,797
2	2,640	2,017
3	264	567

生活習慣病対策 重症化予防 CKD（慢性腎臓病）重症度別 受診状況

※対象：尿蛋白とeGFRの検査値が揃っている者
 ※年度：2022年度継続在籍者
 ※医療機関未受診：慢性腎臓病、その他腎疾患での未受診者
 ※疑い傷病：含む ※対象レセプト：医科

G3a以上のリスク者3,202人の内、2,601人は未受診者である。

CKD重症度分類				尿蛋白 区分			合計
				A1 正常 【-】	A2 軽度蛋白尿 【±】	A3 高度蛋白尿 【+～】	
e G F R 区 分	G1	正常	90以上	25,107 (23,821)	2,344 (2,192)	789 (692)	28,240 (26,705)
	G2	正常または軽度低下	60～90未満	40,337 (37,638)	3,336 (3,100)	1,169 (974)	44,842 (41,712)
	G3a	軽度～中等度低下	45～60未満	2,732 (2,132)	264 (205)	206 (137)	3,202 (2,474)
	G3b	中等度～高度低下	30～45未満	185 (86)	29 (8)	64 (25)	278 (119)
	G4	高度低下	15～30未満	18 (5)	7 (0)	35 (2)	60 (7)
	G5	末期腎不全	15未満	2 (0)	2 (0)	57 (1)	61 (1)
合計				68,381 (63,682)	5,982 (5,505)	2,320 (1,831)	76,683 (71,018)

上段：該当者数／下段（ ）内：医療機関未受診者

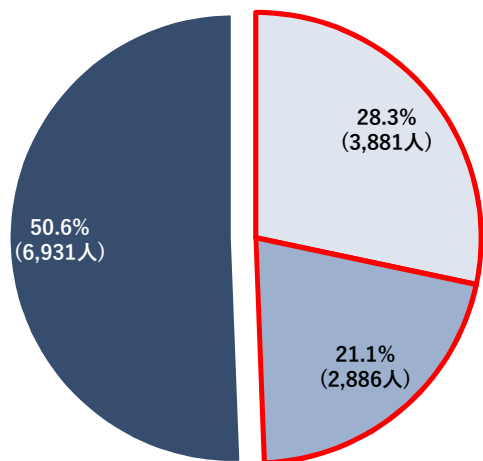
生活習慣病対策 重症化予防 疾患群の病態コントロール割合

※対象：2021-2022年度継続在籍かつ健診受診者のうち、
2021年度健診で服薬ありまたは受診勧奨対象群だった者
※年齢：2021年度末40歳以上

血圧服薬者12,798人の内アンコントロール者は6,931人、血糖服薬者4,014人の内アンコントロール者は3,076人、脂質18,908人の内アンコントロール者は10,972人であった。

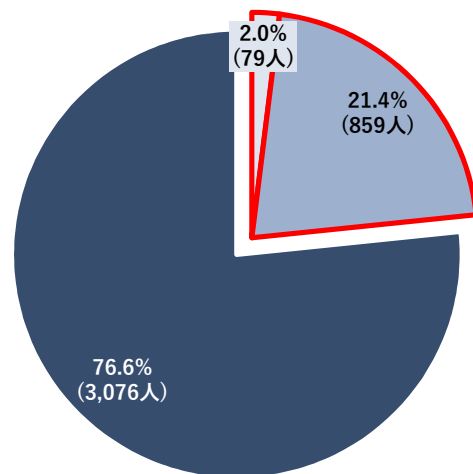
〈血圧〉

2021年度健診で
「血圧を下げる薬を飲んでいる」に
「はい」と回答または
受診勧奨対象群の者の2022年度の内訳



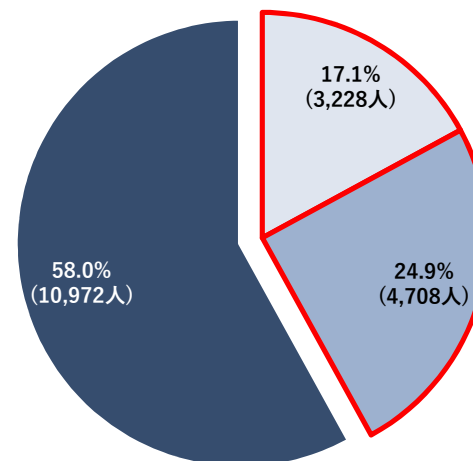
〈血糖〉

2021年度健診で
「インスリン注射又は血糖を下げる薬」に
「はい」と回答または
受診勧奨対象群の者の2022年度の内訳



〈脂質〉

2021年度健診で
「コレステロールや中性脂肪を下げる薬」に
「はい」と回答または
受診勧奨対象群の者の2022年度の内訳



□ 正常値群 □ 予備群 ■ 受診勧奨対象群

	収縮期血圧	拡張期血圧
正常値群	<130	<85
予備群	130 ≦ and <140	85 ≦ and <90
受診勧奨対象群	140 ≦	90 ≦

	空腹時血糖	HbA1c
正常値群	<100	<5.6
予備群	100 ≦ and <126	5.6 ≦ and <6.5
受診勧奨対象群	126 ≦	6.5 ≦

	中性脂肪	LDLコレステロール
正常値群	<150	<120
予備群	150 ≦ and <300	120 ≦ and <140
受診勧奨対象群	300 ≦	140 ≦

(病態コントロール割合)：対象者のうち、2022年度正常値群または予備群だった者の割合

健診・レセプト突合割合 生活習慣病 リスク分布

※対象：各年度継続在籍者
 ※年齢：各年度末40歳以上
 ※医療費：該当者あたり医療費（円）* 歯科除く



該 当 者 数	2022年度	10,231	8,750	13,617	13,416	4,652	13,769	5,634	392
	2021年度	10,602	8,249	12,920	13,939	5,088	13,470	5,445	364
	2020年度	12,684	8,035	12,326	13,817	5,122	12,710	5,183	367
割 合	2022年度	-	14.5%	22.6%	22.3%	7.7%	22.9%	9.4%	0.7%
	2021年度	-	13.9%	21.7%	23.4%	8.6%	22.6%	9.2%	0.6%
	2020年度	-	14.0%	21.4%	24.0%	8.9%	22.1%	9.0%	0.6%
医療費	2022年度	-	87,007	84,033	78,553	58,876	284,467	533,516	3,057,710